



せせらぎの洋風部分



北公園に整備された和風修景池



歩道内に設けられた岩泉



DATA・BOARD ⑩

- ①山形県酒田市大宮町4丁目
- ②延長：570m，幅員：0.6～1.0m，面積：約400㎡
- ③修景池，四阿，照明ほか
- ④伊勢ゴロタ石，植栽ほか



酒田市郊外の大宮地区に開発された新興住宅地は、新住民の中心が若年層となることが予想されていたため、まちづくりにあたっては既存集落の住民との接点を創出する必要があった。そのため、新旧の住民が精神的に共有でき、また潤いのある市街地を形成していくためのものとして整備されたのが「せせらぎ」である。

このせせらぎは、庄内のシンボルともいえる最上川と鳥海山をイメージしてつくられており、水辺には四季折々の樹木を植栽し、流れの途中には岩泉、岩滝を設けて変化をつけている。流れる水は地下水を汲み上げ、水路の底は子供たちの水遊びなどに配慮した浅い構造にして、滑りにくい石を敷いている。

また、和風の修景池や四阿、庭園灯なども設置し、地域住民の安らぎと潤いの都市空間が誕生した。